



Shin-Kobe 糖尿病だより

12月号 (Vol.5)

インスリン注射ってどんなもの？本当に怖いのか？

「インスリン注射は怖い！」「痛そう」とよく言われます。
インスリン注射とはどのようなものかをご紹介します。



①注射は痛い？

採血などで使用する針とは、太さや長さが全く違います。ほとんど痛くありません！

②1日何回も注射するの？

患者さんの糖尿病のタイプや特徴によって、注射が必要な回数は違ってきます。

1日1回だけ、都合の良い時間に注射している方も多いです。

③どんな形？

最もよく使われているのは、ペンの形をしたタイプです。

(※1型糖尿病の患者さんでは、インスリンポンプも使用できます)



～インスリンにまつわる噂 (これは本当??)～

「インスリン治療を始めると、膵臓がサボって、インスリンを出さなくなってしまう。」

✕むしろ逆だと考えられています。

膵臓を休ませてあげることで、インスリンを分泌する力が改善することがあります。

「インスリン治療を一度始めたら絶対やめられない。」

(依存症みたいになって、やめたら余計に悪くなる)

✕当然、依存症などはありません。やめたら、もとの状態に戻るだけです。

「インスリン治療を始めたら、注射に合わせて生活しなければならない。」

✕生活に注射の打ち方を合わせていきます。

インスリンは体から分泌されているホルモンです。

このホルモンを分泌する力が低下している方では、糖尿病薬を飲んだり、食事や運動に気を付けても、血糖値が十分に下がらない場合があります。そのような方では、外からインスリンを補充することで血糖値が下がり、膵臓への負担も軽減します。

インスリン治療が必要だけれども、「インスリンを打ちたくない、」と言っておられた方も実際に始めてみると「想像していたほど大変ではなかった」「もっと早くに始めればよかった」という場合が多いです。

当院では、インスリン注射が必要な方に対しても、患者さんの不安や負担感をなるべく取り除けるようサポートしながら、安全で適切な治療を提供したいと考えています。

糖尿病・内分泌・漢方内科 新神戸おかだクリニック 院長：岡田 裕子

電話：078-241-1350